

今年の干支は亥。猪突猛進と言われる亥年の方は何ごとにも熱心で勇気があり、やり遂げるそうです。また、正義感が強く、弱者を守り強者にもひるまない強さも持ち合わせており。自然とグループのリーダーになっていることが多いそうです。そこで、亥年生まれの方4名の方に2019年の年頭にあたり、抱負やモットーなどをお聞かせいただきました。

干支

小形 雅 晴さん

昭和34年2月8日生

税理士 2013年に税理士法人として開業し、市内堀川町と江差町に事務所を構え、代表税理士として業務をされている小形先生。北海道税理士会函館支部にもご所属されております。

函館に生まれ、函館工業高校を卒業後、現在も函館港に停泊している青函連絡船「磨周丸」で11年間船客長として勤務されていたとのこと。のちに国税職員の採用試験を受験され、これを機に税界に飛び込み、東京、札幌国税局及び管内税務署で勤務され、在職中は法人税調査担当として数十年従事してきたとのこと。

「いま思うと二十代後半で、転職と東京転居を一辺に向え苦勞もしたがあの人生転換は、自分への天命であり、その後の人生のチャンスを与えられたものだった」と語る。

仕事の思い出では「調査案件で長官、局長からの表彰は数度頂き、それだけでも身に余ることだと思っていたが、米国内国歳



入庁長官から、日本の国税職員で第1号となる表彰状を頂いたことは、自身最大の名誉と思ひ、今も事務所に飾っている」とちょっと自慢げに語る。

休日は気ままに外出する事が多いが、たまにDVDをレンタルし鑑賞しながら二日酔いを醒ましているとのこと。

今後の抱負については、「『何になったかではなく、何をやったか』を信条に、日々を正面から乗り越えていきたい」と語る。「それと、もうひとつ、あなたの趣味はと聞かれた時に、大きな声で『ゴルフです』と言えるようになりたい。」と語るも、「でも絶対無理だわ」ともつぶやいていました。

今後、益々ご活躍されることを祈念します。

庭田 孝 司さん

昭和34年10月18日生

会 員 「仕事、人付き合いなどは何をやるにしても一方的ではなく1人で出来るわけではない。何事にも『お互い様』だということを心に留めています」と語るのは市内西桔梗町にある株式会社函館小型運送代表取締役社長の庭田孝司さん。当会の事業委員会委員長もされています。



旧亀田市(現函館市亀田本町)のご出身で芝浦工業大学大学院を卒業後、東芝シリコン株式会社に入社し、シリコンを使った導電帯の研究開発をしていました。その後、家業を継ぐために帰函し、株式会社函館小型運送に入社した。

家業を継ごうと決意をした理由は、「お正月、実家に帰ってきた時に親が年を取って見えたから」と語る。

営業内容は主に貨物自動車運送ですが、特に肉牛など家畜の運搬に関する仕事の事が7割だそうです。「入社当時はトラックの運転手として始めたので、今でも運転は苦にならない」と語る。

また、「『私たちはいつもお客様の気持ちになって、しごとを致します。』を社是として掲げています。これは、出来る限りお客様の要望に応えたいと思ひで、責任のある仕事をさせて頂いている。」と語る。

今後の抱負については、「組織体制を変えて若返りをし、5年後までには次の後継者を決めないといけない。また、従業員のみなさんに多くの給料をお渡しできるようにしたい。」と語る。

今後もお仕事に、会の活動に、ご活躍を期待いたします。



佐藤 俊幸さん

昭和58年1月17日生

税務署 「体が資本なので、健康第一を座右の銘にしています」と語るのは、函館税務署総務係長として業務をされている佐藤俊幸さん。

札幌市の隣に位置する江別市のご出身で大麻高校卒業後、北海道大学経済学部へ通われたのち、国税職員となりました。函館へは2年前に赴任し、国税職員となって最初に赴任した時から合わせて2回目だそうです。

函館への印象は、「函館山からの夜景や函館朝市、五稜郭など観光地という印象が強い」と語る。

上司である、中林総務課長は「とても真面目で丁寧な仕事をしてくれるので、安心して仕事を任せられる」と評価している。また、「昨年結婚したばかりの新婚なので、温かい家庭を築いてほしい」と語る。

家族構成は昨年結婚した奥様と2人暮らし。奥様もお父様も税務職員だそうです。

税務職員になった理由は「元々公務員志望ではあったが、小さいころから父を見て育ってきたので調査事務に興味があったから」と語る。

休日の過ごし方は奥様と2人でご



飯を食べに行くことや、家でゆっくりしている事が多いそうです。

今後の抱負については、「これから1年で1番忙しい確定申告が始まるので、より一層基本に忠実となり、ミスをしないようにしていきたい。また、プライベートでは奥さんの事を今以上に優しくしていきたい。」と語る。

今年もお体に気を付けて仕事にプライベートにご活躍して下さい。

石坂 浩一さん

昭和46年1月14日生

青年部会 「お客様が花びしホテルを選んで良かったと喜んで頂けることがしたい。」と語るのは、2013年度に青年部会へ入会した株式会社花びしホテルの石坂浩一さん。

青森県で学生時代を過ごした後、大学進学を機に東京で18年過ごした後、帰函し2007年から花びしホテルにお世話になっております。

青年部会の活動で印象に残った事は、「5年前、前任の担当者が退職し、代わりに入会した年に設立30周年記念事業を当ホテルで開催して頂いたのですが、開催までの期間が短い中、会議を重ね登山家の故栗城史多氏をお呼びして講演会を開催したことは今でも



忘れられません。」「また、今年度は青年部会が設立35周年記念事業として2月21日にゴルゴ松本氏をお呼びして「命の授業」を開催するので今から楽しみです。」

座右の銘は「一期一会」と語る。

家族構成は大学1年生の長男と高校2年生の娘がいる。

休みの日の過ごし方は、趣味でもあり特技でもある空手の稽古やランニングなど体を動かしている事が多いそうです。

今後の抱負としては、青年部会では「残り2年の中で出来る限りのことを協力して盛り上げていきたい。」また、仕事面では「ホテルが歩んできた歴史と伝統を守りながら売上の向上とこれからも地元密着で愛される花びしホテルを守って行きたい」と語る。

今年も、仕事にプライベートにご活躍を期待いたします。

賀正



頌春

謹んで新春の御祝詞を
申し上げます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

平成31年 元旦

公益社団法人函館法人会

会長 堀川 昭雄



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索